

東北大学職員のための「大学変革力」育成講座

本講座の概要：

本講座は、東北大学において世代・職階ともに「中堅」に位置づく係長等の職員が、変化の激しい多様な時代的ニーズを踏まえつつ、本学の強みを活かした新たなイノベーションを創出できる「大学変革力」を獲得・育成することを目的としています。

ここでいう「大学変革力」とは、①情報収集とデータ分析によって大学内外の状況を把握できる精緻な「状況分析力」、②それを踏まえて新たな課題を発見し、その解決に向けた思考を展開し深めることのできる柔軟な「課題発見力」、③課題解決に向けて実行可能性の高い改革案を企画・提案し、他者を巻き込みながら実現に至る「企画提案力」からなります。

こうした多面的で実践的な「大学変革力」を身につけるため、本講座では、約4か月の間に「ワークショップ」(2回)と「企画提案会議」を設定し、インテンシブに成長できる機会を提供します。「ワークショップ」では、グループワーク(チーム)を中心に東北大学の課題状況の分析と発見を目的としたディスカッションを行います。「企画提案会議」では、実践しながら各チームから企画提案を行っていただき、その実行可能性や将来性をめぐって議論を行います。

なお、本講座は3回のシリーズから構成され、4か月の間に各チームによる自主的な議論や打合せを行っていただきます。

日時・場所：

- 第1回目「ワークショップⅠ」：2014年10月11日(土) 13:00-17:00
第2回目「ワークショップⅡ」：2014年12月6日(土) 13:00-17:00
第3回目「企画提案会議」：2015年1月31日(土) 13:00-17:00
- 東北大学川内北キャンパス・川北合同研究棟1階101

対象：原則として、以下の①～③のすべてに当てはまる方

- ① 30代～40代の大学職員
- ② 役職が係長級以上課長補佐以下の東北大学事務系職員(図書系及び施設系を含む)
- ③ 3回のプログラムおよび4ヶ月間の自主的活動に参加いただける方

定員：15名(5名×3チーム)

アドバイザー制：

本講座では、大学の現場で教育改革・改善を主導してきた、以下の経験豊富なシニア教職員(3名)を助言役とするアドバイザー制をとっています。3回目の「企画提案会議」では、各チームにおいて参加者が議長を努め、シニア教職員を含めた会議での企画提案・議論を行っていただきます。

- ・篠田道夫(桜美林大学 大学アドミニストレーション研究科教授)
- ・羽田貴史(東北大学高度教養教育・学生支援機構副機構長、教授)
- ・齋藤 仁(東北大学総務企画部長)

申込み・締切：

高度教養教育・学生支援機構「行事申込ページ」よりお申込みください。

https://www3.he.tohoku.ac.jp/pd/index.cgi?program_num=1403854111

※申込締切 2014年9月26日(金)

プログラム

第1回目：ワークショップⅠ ～課題を抽出する～

- 日時：2014年10月11日（土） 13：00～17：00
- 場所：東北大学川内北キャンパス 川北合同研究棟1階101 CAHE ラウンジ
- 概要：大学機関別認証評価 自己評価報告書（平成26年6月）を基に、各チームにおいて、教育研究組織、教員および教育支援者、教育内容及び方法、学習成果、施設・設備及び学習支援など基準項目より1つ選択し、改善すべき課題を挙げ、その中から、実現可能な課題を抽出する。ワークショップ最後には、各チームにおける課題、改善に向けた方向性、改革案作成までの流れを全体共有する。

【事前課題】 当日の円滑なワークショップ活動のため、自己評価報告書を事前にお送りしますので、全体を読み、改善が必要と思われる点を確認しておいてください。また、当日も持参してください。

第2回目：ワークショップⅡ ～議論を深め改革案を磨く～

- 日時：2014年12月6日（土） 13：00～17：00
- 場所：東北大学川内北キャンパス 川北合同研究棟1階101 CAHE ラウンジ
- 概要：各チームにおいて進めてきた改革案を全体共有し、議論する。着目点、改善案は妥当か、会場全体から出された多様な意見をどのように集約し実現へと運ぶか。改革案の実現に向け、チームにて再度議論する。

【事前課題】 各チームにおいて全体発表ができるように準備をしてください。発表形式はパワーポイントとし、大学教育支援センターへ事前に提出してください。発表資料は自己評価報告書から抽出した課題、初めて提案する改革案について、他の方にわかりやすく伝えられるものを目指してください。

発表形式：1チーム30分（発表20分、討議10分）

原稿作成上の注意：タイトルで改革課題を簡潔に示してください。

スライド枚数は問いません。

原稿締切：2014年12月1日（月）

送付先：cpd_office@ihe.tohoku.ac.jp

自主的
活動の
推奨
（四ヶ月間）

2015年1月11-12日開催
履修証明プログラム EMLP
ラップ・アップ・ワーク
ショップへの陪席可

第 3 回目：企画提案会議 ～改革案の実現に向けて～

- 日時：2015 年 1 月 31 日（土） 13：00～17：00
- 場所：東北大学川内北キャンパス 川北合同研究棟 1 階 101
CAHE ラウンジ
- 概要：各チームにおいて完成した改革案を、アドバイザーを含めた別チームのメンバーに発表していただきます。チームで作上げた改革案を、会議構成員に対してどのように説明し、説得するか、手腕を磨いてください。また、会議にて出された指摘や意見に対し、どのように対処するのか、議長（参加者）は会議マネジメントについての経験もしていただきます。

【事前課題】各チームの改革案を、全体発表ができるように準備をしてください。発表形式はパワーポイントとし、大学教育支援センターへ事前に提出してください。補足資料等がある場合は、別添にて付けることも可能です。ただし、枚数は 4 枚程度に収めてください。

発表形式：1 チーム 30 分（発表 20 分、討議 10 分）

原稿作成上の注意：タイトルで改革課題を簡潔に示してください。スライド枚数は問いません。アドバイザーは初めての参加となりますので、第 2 回ワークショップ II で説明した経緯についても含めて説明してください。

原稿締切：2015 年 1 月 26 日（月）

送付先：cpd_office@ihe.tohoku.ac.jp

問合せ：
高度教養教育・学生支援機構
大学教育支援センター 杉本・稲田
Tel: 内線 川内 (92) 4471
E-mail: cpd_office@ihe.tohoku.ac.jp

第1回目：ワークショップI ～課題を抽出する～

日時：2014年10月11日（土） 13：00～17：00

場所：東北大学川内北キャンパス 川北合同研究棟1階101 CAHE ラウンジ

タイムテーブル（案）

13:00～13:05	導 入	開始（開会挨拶）	
13:05～13:15		アイスブレイク （10分）	
13:15～13:35		認識共有（20分）	東北大学とはどんな大学か？広報担当者として、自校を一人2分で説明してください。
13:35～14:05	発 見	課題の共有（30分）	各チームにおいて、各自洗いだした課題を共有する。何故その点に着目したのかを添えて説明する。
14:05～14:35		課題の抽出（30分）	どのような点が焦点となるのか、改革実行が見通せる点はどこか。
14:35～15:50		休 憩（15分）	
15:50～16:00	展 開	改革の方向性を見据える（70分）	課題，改革の方向性，企画提案会議までの流れを作成する。自主活動期間を踏まえた計画を立てる。（PPTにて作成）
16:00～16:50	展 開	発表（50分）	1グループ15分（発表10分，質疑応答5分）
16:50～17:00		まとめ， 次回WSに向けて， 終了	
17:30～		情報交換会	